

製品名: Sumo 1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86345

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:12 kDa; Observed MW:80,12 kDa

抗原情報

遺伝子名	Sumo 1
別名	DAP1; GMP1; PIC1; SMT3; UBL1; OFC10; SENP2; SMT3C; SMT3H3
遺伝子 ID	7341
SwissProt ID	P63165
免疫原	ヒト Sumo 1 の合成ペプチド

背景

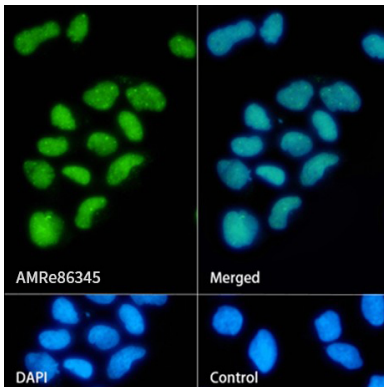
この遺伝子は、SUMO (small ubiquitin-like modifier) タンパク質ファミリーに属するタンパク質をコードしています。この遺伝子

は、翻訳後修飾システムの一部として標的タンパク質に結合するという点で、ユビキチンと同様の働きをします。しかし、タンパク質を分解の標的とするユビキチンとは異なり、このタンパク質は核輸送、転写調節、アポトーシス、タンパク質安定化など、様々な細胞プロセスに関与しています。カルボキシ末端の最後の4つのアミノ酸が切断されるまでは活性化しません。この遺伝子には、いくつかの偽遺伝子が報告されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエーションも特徴付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



Sumo 1 ウサギモノクローナル抗体を使用して Sumo 1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。